

令和3年度シラバス

教科名	国語科	科目名	古典研究
科目の目標	古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を育てる。		
履修学年	3年	類型	文系
単位数	4単位	履修形態	必修
教科書	改訂版古典B 古文編・漢文編 (教研出版)	副教材等	新版五訂完全マスター古典文法(第一学習社)・漢文必修四訂版(桐原書店) 古文単語330三訂版(いずな書店)・新版五訂新訂総合国語便覧(第一学習社)

①学習の目標

- (1) 文章や作品に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。
- (2) 文章や作品の表現上の特色を理解し優れた表現に親しむ。
- (3) 古典を読んで、日本文化の特質や日本文化と中国文化の関係について考える。

②学習内容と授業の進め方

- (1) 古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する。
- (2) 文章や作品の内容を構成や展開に即して的確にとらえる。
- (3) まとまった文章理解につとめ、文章に表れた人間、社会、自然などに対する思想や感情を表現に即して読み、味わう。
- (4) 古典常識にも理解を深め、文章の構成を確かめたり、表現の特色をとらえたりする。
- (5) 作品の成立や評価についても探求し、日本文化の特質や、日本文化と中国文化の関係について考える。
- (6) 自ら読み取った思想や感情などについて、感じ、考えたことを文章にまとめ、発表する。
- (7) 教材は教科書を中心に、まとまった文章読解ができるよう自主教材プリント等で便宜補う。

③学習に当たっての留意点

- (1) 常に主体的に学習に取り組むことを心がけ、古文では①音読、②文法的説明、③口語訳を、漢文では①音読、②書き下し文、③口語訳の予習を怠らないこと。(不明点を明確にする。)
- (2) 様々な表現技巧、語句、語彙について辞書や便覧などで調べ、読解に役立てるとともに、文章成立の歴史的背景への理解を深めること。
- (3) 授業では、予習時の不明点の解明して文章の内容を理解し、古文・漢文の語彙・文法事項の習熟に力を入れること。
- (4) 文法事項の学習に当たっては補助教材を活用し、計画的・体系的な知識の習得に努めること。
- (5) 小テスト等にも意欲的に臨み、課題等は期限を守って確実に提出すること。

④評価の観点

- (1) 「関心・意欲・態度」【関】  
自らの国語力の向上を図るため、予習・復習をしっかりと行い、授業に関しても、その内容を積極的に理解し、自らを高めようとする姿勢が見受けられることを基本とする。様々な課題に関しても、取り組みが充分であり、自主的に質問をしたりするなど、理解しようとする態度も評価する。さらに、教材や作者に関して主体的に調べたり、発展的に学習を進めたりすることができることが望ましい。
- (2) 「読むこと」【読】  
表現に留意して、様々な文章の内容を読み取り、ものの見方・感じ方・考え方を広げ、描かれた人物・情景・心情などを味わっていくことができることを基本とする。さらに、難解な文章でも文脈に即して的確に読み取り、自らの考えを深めていくことができることが望ましい。
- (3) 「知識・理解」【知】  
古今の様々な文章の読解を通して、語彙・文法・表現・文学史等を理解し、今後の文章読解・鑑賞・表現に役立てられる知識として蓄積することを目指す。

⑤評価の方法

- 【関心・意欲・態度】【読む能力】【知識・理解】の3つの観点で、以下の学習の状況を総合的に評価する。
- (1) 学習活動に対する取組姿勢
  - (2) 提出された課題の内容
  - (3) 定期考査および小テストの結果

## ⑥授業計画

月	単元名	具体的な学習内容	評価の方法など(観点項目を記入)
4	(古文) 随筆	『枕草子』「二月つごもりごろに」 「鳥の空音」 ・副助詞「さへ」 ・二方面に対する敬語表現	内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。【関】 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】
5	(漢文) 小説	『捜神記』「売鬼」 『本事詩』「人面桃花」 ・文脈把握 ・句法の理解	内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。【関】 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】
6	(古文) 日記文学	『蜻蛉日記』「うつろひたる菊」 『紫式部日記』「同僚女房評」 ・助詞・助動詞の用法 ・現代語訳	内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。【関】 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】  【前期中間考査】
7	(漢文) 史伝	『史記』「勿頸の交はり」 ・文脈把握 ・成語の現在の意味	人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえようとしている。【関】 人間、社会、自然などに対する思想や感情を的確にとらえている。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】
8	(古文) 物語	『源氏物語』「須磨」「紫の上の死」 ・和歌 ・二方面に対する敬語表現	内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。【関】 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】  【前期期末考査】
9	(漢文) 文章	『柳河東集』「捕蛇者説」 ・作者の執筆意図 ・文章の構造	内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。【関】 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】
10	(古文) 評論	『近代秀歌』「本歌取り」 『無名抄』「俊成自讃歌のこと」 ・助詞・助動詞の用法 ・敬語「給ふ」の二種類の用法	内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察しようとしている。【関】 内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察している。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】
11	(漢文) 漢詩	『長恨歌』 ・対句と押韻 ・文章の構造	内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。【関】 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】  【後期中間考査】
	(古文) 近世随筆	『玉勝間』「師の説になづまざること」 ・たとえの考察 ・助動詞「なり」「べし」の多用	内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。【関】 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】
12 1	問題演習	大学入試に向けた問題演習	内容を構成や展開に即して的確にとらえようとしている。【関】 内容を構成や展開に即して的確にとらえている。【読】 語句の意味、用法及び文の構造を理解している。【知】